

第24回福岡地域審議会会議録

と き：平成25年10月31日(木) 午後2時00分から午後5時20分

ところ：福岡庁舎4階 401会議室

出席者

○高岡市

高橋市長、高田副市長、岡田経営企画部長、寺嶋総務部長、鶴谷都市経営課長、山口財政課長、二塚総務課長、中条道路建設課長、中野建築住宅課長、堀土木維持課長、関野児童育成課長、中嶋教育委員会総務課総括専門員、関教育委員会体育保健課長、徳田福岡総合行政センター所長、山田経済振興課長、橘市民生活課長、山崎福岡まちづくり推進室長、窪田福岡教育行政センター所長、野積地域振興課長、川尻地域振興課課長補佐、橘地域振興課課長補佐

○委員（50音順）

大道哲郎委員、参納幸雄委員、武田庄保委員、地崎武治委員、朝静子委員、徳田新一委員、中山里美委員、平野栄一委員、中山智章委員、茂古沼江里委員、源保夫委員、山崎美恵子委員、山田儀作委員

○欠席者（50音順）

大庭敦子委員、木村英二委員

1 開 会

午後3時00分

【事務局】

本日は、お忙しい中ご出席賜りまして、誠にありがとうございます。

ただいまから、第24回福岡地域審議会を開催いたします。

本日の市の出席者を紹介します

(市出席者の紹介)

2 会長挨拶

【事務局】

それでは、山田会長からごあいさつをお願いいたします。

【会長】

本日は、高橋市長様をはじめ、市当局の皆様そして審議委員の皆様には、公私とも

に大変お忙しい中ご出席いただき誠にありがとうございます。今日は旧高岡市と合併して丸8年になる日です。明日からは9年目に入ります。さて、今まで高岡市と合併してからいろんな事業が進められてまいりました。その中でも、現在進行しているのは、福岡小学校グラウンドの整備あわせて福岡文教ゾーンの整備がなされております。また、野球場グラウンドに関しましては高岡西部総合公園ということで現在建設中です。スタンド部分のコンクリートが少しずつ立ちあがっています。一方、大きな事業であります福岡駅前土地区画整理事業で、核になっております駅前地域交流センターがなかなかできない状況であります。予算は昨年から確保されておりますが、何とか早く実行できるよう市当局の皆さんのお力を是非発揮していただきたいと思っております。

高橋市長には先般の8月23日の記者会見で、福岡担当の副市長は選任しないという発表がありました。当審議会としてはすぐに副市長選任の要望書を提出し、回答を求めました。しかしながら、9月議会があるので回答は少し待ってほしいということで10月2日の日に回答をいただきました。その回答書を読み上げます。「合併後8年が経過しようとし、この間、担当副市長には重要な役割を担っていただけてきましたが、私をはじめ職員においても福岡地域の状況等について他の地域と同様に認識が進んでいることなどを踏まえ、熟慮した結果、副市長を当面1人とする判断に至りました。ご理解いただきますようお願い申し上げます。」との回答がありました。福岡担当の副市長の任期は協定書に書いてありませんでした。残念ながら書いてないということで今回のようになったかと思っております。私たち地域審議委員の考え方からすれば、新市建設計画が10年で計画されていますので、当然10年経過しない限り福岡担当の副市長はなくなると認識しておりました。しかし残念ながら今はこんな結果になってしまいました。しかしながら、今一度思い出していただきたいと思っております。平成の大合併では、旧高岡市は近隣の自治体と合併し30万人都市を目指しましたが、近隣の自治体は全然顔を向けてくれませんでした。その中で旧福岡町だけが旧高岡市と旧小矢部市との間にあり、両自治体から条件が出され合併の提案がありました。その結果、旧福岡町は旧高岡市の提案を受け入れて、今の若い世代には理解できないかもしれませんが、対等合併を受け入れたわけであり、合併特例債も両市町で折半ということになっております。当時合併協議に携わった職員の人たちがみなさん退職されて、過去の経緯を正確に説明できる人がいないということが非常に寂しいことだと思っております。福岡総合行政センターに1部3課の部門が置いてあります。合併協議では15年間設置されることになっております。15年間は非常に長いです。聞くところによると、非常に非効率的な部分もあるという声を聞いております。私個人的には、前倒しということも含めて再協議が必要であると思っております。そう考えると、市当局は誰と交渉するのかわかりませんが、私は、やは

り再協議するときは、福岡出身の副市長がいて初めて意見が一つにまとまると思います。このことを十分考えていただきたいと思います。地域審議会の意見は尊重しなければならないと条例には書いてありますが、私たちには何の権限もありません。市長が任命して市議会が同意承認して副市長が決められるわけです。市長さんをはじめ、先日27日に選出されました市議会議員の皆様が、行政センターのあり方を含め今回の副市長問題を是非もう一度協議していただきたいと私自身強く思っております。なかなか難かしくとかと思いますが配慮のほどよろしくお願いします。この件に関しましては、合併協議の重要事項でありますので、本来であれば審議事項として取り扱う必要があるかと思いますが、市長さんから回答書も届いております。そういうことも含めその他のところで皆様のご意見を聞きたいと思っております。これで了解をお願いしたいと思っております。私たち第4期の2年間の審議委員も今日が最後の審議会です。最後に忌憚のない意見を出していただきたいと思います。市長はじめ市当局の皆様には今まで暖かい配慮をいただきました。今後も一層のご配慮をお願いいたしまして、挨拶を終わります。本日はよろしく願いいたします。

3 市長あいさつ

【事務局】

ありがとうございました。続きまして、高橋市長からごあいさつを申し上げます。

【市長】

本日は第24回目になりますが、地域審議会を開催させていただきましたところ、山田会長さんをはじめ審議委員の皆様方には、大変お忙しい中とは存じますがお集まりいただきありがとうございます。新高岡市となりまして、明日11月1日をもちまして8年満了となるわけです。この間山田会長さんを中心に、地域づくりに取り組んでこられましたこと改めまして感謝申し上げます。今ほど山田会長さんからも、いろいろお話がございました。後ほど改めて申し上げたいと思っておりますが、副市長を当面一人といたしたいということでお話申し上げまして、福岡地域審議会委員の皆様方からは、ご質問をいただくなどご心配をおかけしておりまして恐縮に存じております。すでにご回答をさし上げておりますが、あるいは後ほど重ねてのお尋ねがあるかと思っておりますが、私といたしましては副市長というのは任期制の職であり、4年任期という職であること、また、合併時のご議論はいろいろ伺っておりますが、そういったご議論を踏まえつつ、合併後8

年を経過したこの時点の事業の進捗あるいは制度の一元化が行われてきていることなど、状況の変化などを総合的に判断いたしましてこのような判断をいたしたところであります。なにとぞご理解をいただきたいと思っております。もとより、これからの福岡地域の事業につきましては、新市建設計画に基づきまして着実に推進してまいるということは当然でございますし、またそのためのしっかりした福岡に関する業務執行体制を構築することで施策事業が円滑に進んでいきますように、十分意を用いてまいると存じます。

さて、平成27年の春に新幹線開業がいよいよ間近に迫ってきました。新幹線駅、現高岡駅、そしてこれらの周辺の都市基盤整備が目に見える形で進んできております。市民の皆様のご期待も高まってきていると存じます。これらのエネルギーの高まりを追い風にいたしまして本市の求心力、あるいは本市の認知度といったものを残された時期で一気に押し上げ、そして新幹線開業に向けて高岡のシティーセールスPR攻勢といったものを仕掛けてまいりたいと思っております。このため本年は官民一体となった開業カウントダウン事業をはじめといたしまして、直接各地に出向いて顔の見えるような形で宣伝活動を繰り返し実施してきております。また、旅行雑誌などの各種メディアを通じまして高岡というものの発信を強化してありまして、首都圏はもとより新幹線沿線地域から誘客が図られますように、積極的に取り組んでまいりたいと思っております。

さて、福岡地域の主要事業でございますが、継続実施しております、福岡小学校の改築事業が着工して4年目となっておりますが、ただいまは福岡小学校グラウンドの改修に入っております。また、福岡中央地区のまちづくりにつきましては、福岡消防分団屯所の移転事業、蓑川プロムナード事業も継続して進行しているところでございます。駅前の区画整理事業も手順に従って進んでありまして、新しい道路が少しずつ整備されてきていると存じております。このほか、福岡グラウンドの設計や、公営バス車両の購入、集会所の改修さらには市道、林道、下水道事業などのインフラ整備も着実に進めてきているところでございます。今日はこうした計画事業の実施状況あるいは個別の事業についてご説明申し上げますので審議委員の皆様には、忌憚のないご意見、ご提言などを賜りますようお願いを申し上げます。よろしくお願いたします。

4 議事

【事務局】

ありがとうございました。ただいまから議事に入らせていただきますが、本日は、大庭委員、木村委員から事前に欠席の連絡をいただいております。

本日の会議は、委員定数15名のうち13名の出席をいただいておりますので、地域審議会設置規定第8条第4項に規定する過半数を超えていますので本日の会議は成立していることをご報告いたします。

設置規定第8条第3項の規定によりまして、議長は会長が務めることとなっておりますので、山田会長よろしく申し上げます。

(1) 報告事項

【山田議長】

それでは、規定によりまして議長を務めさせていただきます。今回の会議は、①報告事項3件、②審議事項1件となっております。

【山田議長】

それでは、「報告第73号 平成25年度主要事業（福岡地域新市建設計画）」について、説明をお願いします。

【野積地域振興課長】

それでは、「報告第73号 平成25年度主要事業（福岡地域新市建設計画）」について、お手元の資料No.1に従いまして説明をいたします。」お手元の資料1をご覧ください。

(地域振興課長会から説明)

【山田議長】

それでは、説明のありました、ただいまの件について何かご質問はございませんか。ご発言は、議長の指名のもと申し上げます。なお、お近くのマイクを利用してよろしく申し上げます。

【参納委員】

大滝工業団地の件ですが、森精工（株）さんが現在建築工事をすすめておられます。この後、第2、第3の工場誘致をさらに進めていただきたいと思います。大滝工業団地の新たな敷地造成計画はありますか。

【野積地域振興課長】

大滝工業団地の造成計画については、現在のところ、新たな敷地の造成計画はありませんが、残り1区画について工場誘致を進めることに力を注いでおります。

【武田委員】

能越自動車道のパーキングエリアについて調査費がついていますが、すでに計画の図面ができていると聞いているがどうなっているか。

【中条道路建設課長】

福岡パーキングエリアのインターの乗り入れ関係のご質問だと思いますが、まだ検討段階でございまして確定した図面はございません。これに関する市道や県道の整備が関係してきます。一つには本領下老子線それと荒屋敷下老子線があります。荒屋敷下老子線は福岡高校の東側の方から本保福岡線のところでございますが、ここから福岡パーキングエリアまでの乗り入れ関係は現在検討している最中であり、まだ確定していません。

【武田委員】

図面はできていないということですね。

【中条道路建設課長】

検討段階の図面はありますが確定したというものは、まだありません。

【武田委員】

確定したものはないということですね。わかりました。

【大道委員】

見通しとしては何年後に乗り入れ可能となりますか。

【中条道路建設課長】

現在、乗り入れに関して利活用の調査をしております。一部に富山県が管理しております有料の区間があります。本市としてはまずこのことを国の一元管理になるよう目指しており、それと合わせて乗り入れ関係が見えてくると考えております。したがって、今のところ、いつまでとは、はっきり申し上げられません。

【山田議長】

ほかにはないですか。特にないようでしたら、次へ進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

【山田議長】

次に、「報告第74号 高岡西部総合公園（総合グラウンド）整備事業」について、説明をお願いします。

【関教育委員会体育保健課長】

それでは、「報告第74号 高岡西部総合公園（総合グラウンド）整備事業」につきまして、お手元の資料2に従いまして説明をいたします。お手元の資料2をご覧ください。

（教育委員会体育保健課長から説明）

【山田議長】

それでは、説明のありました、ただいまの件について何かご質問はございませんか。

【山崎委員】

総合公園の野球場の利用については、スポーツ少年団とか、そういう関係の団体は城光寺球場と合わせての利用を考えて、もう少し大きな大会に使用するということがですが、多目的広場の使い方ですが、どのような使い方を考えておられるのかお聞きします。

【関体育保健課長】

多目的広場ですが、全面芝張で整備します。一部、本球場のサブグラウンドとしての利用を考えており、そのほか、軟式野球場やソフトボールにも使用できる計画で整備しております。夜間照明等も併せて整備します。また、通常は家族連れの方や、お子様連れの方が芝生の上で転げまわって、体を動かしていただくことが可能な施設になることを想定しております。

【平野委員】

前回の会議でもお話しが出ていましたが、この総合グラウンドが供用開始しますと、その周辺の道路事情が変化すると思います。特に懸念されることは、交差点のある道路と踏切が近いということであり、周辺住民に迷惑がかかることが、考えられます。想定される交通状況をシミュレーションしていただいているとは思いますが、この対策については何かお考えでしょうか。

【関体育保健課長】

国道八号線から新球場に入る県道北高木立野線ではありますが、国道八号の交差点付近から約160メートルぐらいの区間が、道路の拡幅が未整備となっているため、市の道路建設課を通じて県に拡幅のお願いをしております。周辺は住宅密集地であり、家屋の移転等もございますので、そう簡単にはいかないと思いますが、できるだけ早く整備されるよう、引き続き県に要望してまいります。

【山田議長】

ナイター設備は多目的広場にも整備されるのか。

【関体育保健課長】

多目的広場では、小中学校のグラウンド照明程度のものを整備します。野球やサッカーなど、夜間でも練習できるようにしたいと思っております。

【山田議長】

他にございませんか。

特にないようでしたら、次へ進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

【山田議長】

次に、「報告第75号 福岡文教ゾーンの整備」について、説明をお願いします。

【山崎福岡まちづくり推進室長】

それでは、「報告第75号 福岡文教ゾーンの整備」につきまして、お手元の資料3に従いまして説明をいたします。お手元の資料3をご覧ください。

(福岡まちづくり推進室から説明)

【山田議長】

それでは、説明のありました、ただいまの件について何かご質問はございませんか。

【地崎委員】

市営福岡グラウンドの件ですが、グラウンドを利用される方々のトイレの設置はどこかに予定されていますか。また、資料の図面概要から、河川計画ラインの線が文教ゾーンのエリアに入っていますが、この意味について教えてください。

【窪田教育行政センター所長】

トイレの整備につきましては、近隣の自治会からも要望が出ておりますので、福岡グラウンド敷地内で整備を考えております。トイレ設置予定の場所は新しく整備予定の駐車場の利用者や小学校グラウンドの夜間開放の利用者の使いやすいような位置で整備したいと思っております。

【山崎福岡まちづくり推進室長】

このラインは、小矢部川水系の黒石川改修の事業計画の影響ラインです。この改修事業は高岡市と小矢部市をまたぐ延長5,050メートルの区間で50年に一度の規模の洪水に対して、耐えうるために断面を拡幅するもので、富山県で平成13年度から地元協議をしております。昨年、上流の小矢部市岡地内で浸水被害がありまして暫定の改修があったと聞いております。福岡地域は下流に位置しており、地元協議をしておりますが、今は具体的にいつ改修するのか決まっていないと聞いております。

【地崎委員】

改修の事業が実施されると、小学校体育館の図面でいうと、上部の駐車場は使用できなくなるとのことですか。

【山崎福岡まちづくり推進室長】

黒石川の改修工事が実施されますと、今の影響線内にある駐車場、遊具、記念樹は河川改修の支障になります。このような計画ラインがあることを踏まえまして、いまだ黒石川改修の具体的な計画がないという状況の中で駐車場や記念樹の整備をしております。

【山田議長】

河川改修事業が実施されて駐車場が足りないということになれば、その時に改めて考えることになるということですね。

【山崎福岡まちづくり推進室長】

このエリアの駐車場につきましては、前回の会議の中でも議論がございましたが、Uホールの駐車場などを利用しながら、有効な活用をしていくことであると思っております。

【平野委員】

関連で、児童館解体の跡地へ相撲場移設と聞いているが、河川計画ラインを避けて移設するという理解でもいいですか。

【窪田教育行政センター所長】

相撲場については文教ゾーンの整備計画の中で解体することになりました。当初移設と説明してきましたが、使用部材が移設に耐えることができないと判明し、改築ということで現在進めております。整備位置につきましては、児童館解体の跡地で、河川改修計画ラインを外したところで整備する予定です。

【中山（里）委員】

さくら会館の改築が進められています。3月までの工期と聞いておりますが、今まで利用のあった方について、この工事期間中はどのように対処していますか。寺子屋サロンの団体や商工会などどうなっていますか。3階ホールについても利用できないという

ことで、それに代わる対処は何かありますか。また、駅前の地域交流センターがオープンになっていないが何か対応策がありますか。

【山田経済振興課長】

さくら会館は、耐震工事の最中でございます。今までは、寺子屋サロンが活動していましたが、現在は、児童館で活動していただいております。商工会については、2階に会議室がありましたが、駅前の観光物産館の会議室を利用していただいております。3階ホールは、代替えとなる施設がないので、Uホール等利用していただくこととなります。

【中山（里）委員】

大きな式典や祝賀会など飲食をともなう行事をする場合、さくら会館3階ホールが一番適当な場所でありました。ほかに100人以上の人を寄せることができる大きなホールがないが、何か対策がありますか。

【山田経済振興課長】

駅前の交流センターができれば、そちらが代替え施設になるということですが、現状ではそこまでの施設がないので、Uホール等を利用いただくこととなります。

【山崎委員】

先ほどからお聞きしていると、トイレの件、相撲場の件は何度もこの審議会の中で議論されてきたと思いますが、具体的に、いつ、どこに整備されるのかということがいつ決まるのかがわかりません。その時々で、用地の空いたところに相撲場を持ってくるという話になっています。黒石川の改修の用途はいつになるかわからないということはおわかりますが、その時々で対処するというのではなく、きちんと先を見越した図面ができないのかと疑問を感じます。

【徳田福岡総合行政センター所長】

いろいろ庁内の関係部局と調整しておりまして、文教ゾーンも限られたスペースであり、相撲場の位置については、児童館の跡地に持ってこることも一つの候補地として考えております。行政といたしましては、スクラップアンドビルドという考えがありまして、トイレについては、利用が多いということもありまして、利用しやすいところに置く予定で調整しています。まだ、実施設計ができていないので、いろんな角度から検討

しています。いずれにしても文教ゾーンは、限られたスペースであり、利用される方に最大限利用しやすい施設になるように鋭意取り組んでいきたいと思っております。

【平野委員】

前々回、前回から、福岡グラウンドにつきましては、同じ図面しか上がっていない。平成26年度に改修工事をするというのですが、現時点では、計画の図面が大筋で明らかになっているのではないですか。どんな内容のものか、図面がないということであれば、概略だけでもどんな内容か説明できませんか。

【窪田福岡教育行政センター所長】

福岡グラウンドの改修整備につきましては、本年度は基本、実施設計を実施しております。まだ設計は完成していませんので、詳しいことは決まっています。福岡グラウンドの敷地の中で整備するものとしては、トイレ、老朽化している施設、防球ネットなど改修していきます。観客席やダッグアウトについても配慮した計画にしたいと思っております。図面についてはもう少し時間をいただきたいと思っております。

【徳田委員】

一つの意見として、相撲場の話がありましたが、今まで小学校の近くにあったので、今回整備するところも文教ゾーンの中でと考えられたわけですが、国技として、相撲場は神聖な場所なので上がって遊ぶところではないとかということを見ると、文教ゾーン内で整備するよりは、駐車場が近くにある、Uホールの付近で、きちんと整備したほうが、大会やサークルの一環としても非常に使いやすいと思っております。位置については別の場所も検討することも一つではないでしょうか。

【窪田福岡教育行政センター所長】

小学校と相撲場の利活用について相談しています。小学校では、26年度に相撲クラブを発足する予定であり、この3学期からは、4年生以上の児童を対象に、四股の練習を始めると聞いております。将来的には、市内の相撲の盛んな小学校を招待して、旧福岡町でかつて実施していた、つくりもん杯等のような大会を開催していくことを目指すと聞いております。そういうことから、整備場所については、今のところ、文教ゾーン内が望ましいと思っております。

【朝委員】

福岡グラウンドは、野球やソフトボールに限ったグラウンドになるのでしょうか。

【窪田福岡教育行政センター所長】

基本的には、学童や高齢者を対象とした軟式野球やソフトボールができるグラウンドとして、整備したいと考えています。

【朝委員】

球技にはいろいろな種目がありますが、近くに立派な野球場ができる予定であります。こちらにも野球に限るグラウンドができるのは、少し偏っているのではないのでしょうか。

【窪田福岡教育行政センター所長】

立野のグラウンドは、高校野球の試合またはプロ野球BCリーグなどを中心に考えており、福岡グラウンドの用途については学童、高齢者を対象としたグラウンドと位置づけしており、利用の用途は異なるものと考えております。

【山田議長】

ペタンクはどうなるのか。

【窪田福岡教育行政センター所長】

グラウンドの敷地内のファールグラウンド等を利用してペタンクの練習ができるよう計画しております。

【山田議長】

ほかにありませんか

【山田議長】

特にならなければ、次へ進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(2) 審議事項

【山田議長】

それでは、続いて、審議事項に入ります。「審議項目第20号 福岡地域における主要事業の進捗状況」について「①福岡中央地区のまちづくり（土地区画整理事業）」および「②福岡中央地区のまちづくり（都市再生整備計画事業）」については、関連がありますので、一括して説明をお願いいたします。

【山崎福岡まちづくり推進室長】

それでは、「福岡中央地区のまちづくり（土地区画整理事業）」について、お手元の資料4に従いまして説明をいたします。お手元の資料4をご覧ください。

（福岡まちづくり推進室長から説明）

続きまして、「福岡中央地区のまちづくり（都市再生整備計画事業）」について、お手元の資料5に従いまして説明をいたします。お手元の資料5をご覧ください。

（福岡まちづくり推進室長から説明）

【山田議長】

それでは、説明のありました、ただいまの件について何かご質問はございませんか。

【朝委員】

駅前の地域交流センターとJAいなばさんについては、いつ頃の完成を予定していますか。

【山崎福岡まちづくり推進室長】

交流センターについては、平成25、26年度で完成する予定で予算化しております。一日も早く完成することに今は努力している最中です。JAいなばさんにつきましては、これから交渉し移転ということになります。対象物件が、金融機関ということもございまして、新しい店舗が営業してから現在の店舗を解体することになるので、区画整理事業の補償契約を締結する必要があります。JAいなばさんでは、福岡支店の建設委員会を組織され、設計されると聞いております。これから、区画整理事業の施工状況を踏まえまして、一日も早く、駅前整備が目に見えるようにしていきたいと思っております。

【徳田委員】

国道八号線の拡幅工事について、工事期間中通行止めにしなないとお聞きして、安心しましたが、平成28年度以降の着工予定と伺いました。沿線ですでに建物を移転して更地になっているところが出てきていますが、着工まで3年間という期間がありますが、まちの中心部で、更地がずっとこのままの状態であるのは、さみしい思いがします。この更地の有効利用はできないのでしょうか。たとえばつくりもんまつりの駐車場あるいはつくりもんの展示スペースに利用するなど検討できないでしょうか。

【山崎福岡まちづくり推進室長】

国道八号線については、国と約束で、平成28年度まで支障物件を移転することになっています。今は、支障物件を随時移転していただくように交渉させていただいております。現在の移転跡地は、個人所有であり高岡市の所有ではありません。区画整理事業なので用地買収という行為はありません。移転補償で移転していただいているということなので、移転跡地の利用は所有者に委ねられています。更地の整備は、所有者によって違いますので、提案のあった駐車場に使用できるかは、現地を見てみないとわかりません。いづれにしても跡地利用については所有者の方々との交渉次第であると思います。

【茂古沼委員】

資料ナンバー5の住民アンケート調査についてお尋ねします。都市再生整備計画の事務評価ということでNo.5-2を説明いただきましたが、これについてお聞きします。指標3の住民満足度ですが、評価値が4項目書いてあります。その中で、③の「買い物や飲食などの店舗の利便性がよい」という設問に「思う」と「なんとなくそう思う」に回答した人は120人、「そう思わない」は209人という結果で、④の「人々が集い、活気やにぎわいが感じられる」という設問に対して「思う」、「なんとなく思う」に回答した人は72人、「そう思わない」は、「思う」、「なんとなく思う」に比べて、3倍近くの254人となっております。また、①の「鉄道やバスの公共交通の利便性がよい」とか、②の「公共施設の利便性が良い」は、もともと公共交通の利便性がよかっただけであり、公共施設も、もともとあったということでありアンケートする前から土台があったということで、「そう思う」の人数は多くありますが、それらを合算して、51.6パーセントという数値が出たので、それで満足度が高まったといっているのは、住民の思いと違うのではないかと思います。むしろ、③、④の方がにぎわいとか、まちづくりに期待する住民のデータではないかと思います。それから、アンケートの数が1,303人となっておりますが、指標2の福岡地域内の人数3,079人とどんな関係なのか、アンケートの母数と年代はどうなっていますか。回答者の年代によっては、目的と違う結果になると思います。

【山崎福岡まちづくり推進室長】

住民満足度のアンケートの内容につきましては、都市再生整備計画事業を実施したことによる結果を見るうえで実施するものであり、前回の平成20年度で計画したものと比較して、その後どんなふうに感じられたのかを、相対的に達成度を把握しよう

として実施したものであり、前回行った内容を変えずに実施しました。③の設問については、前回の調査でも低い数字になっています。4年かけて都市再生整備計画を実施してきたが、なかなか改善されなかったということが、このアンケート調査から見受けられます。このことを分析しながら、今後のまちづくりに活かしていきたいと思っております。また、アンケートの調査方法ですが、前は、平成20年2月から3月にかけて福岡町の住民登録者から無作為に抽出し実施しております。それから、高岡市商工会福岡支部、福岡高校の生徒さんにもお願いし、合計サンプル数721で調査をしました。今回は平成25年の8月から9月にかけて、福岡中心部での事業でありますので、福岡地区自治会連絡協議会に協力いただきました。前回同様、高岡市商工会福岡支部、福岡高校の生徒にも協力いただき、福岡町の6地区の公民館、Uホール、JR福岡駅、雅楽の館、いっぴく処に回収箱を設置し調査いたしました。サンプル数は、514件で、このような評価になっております。1,303人は、514人の方が①～④の設問に対し、「思う」「何となく思う」を選んでいただいた総数です。のは、福岡地区内人口とは一致していなくて、他の区域の方々がアンケートにお答えいただいたということです。

【茂古沼委員】

資料5-1の目標欄①に「子供にもお年よりも、優しい・楽しい、歩きたい住みたいまち」とあります。こういう子供やお年よりの声を聞くようなアンケートにしたほうが良かったと思います。高岡市の高齢化率は30パーセント近くになります。昼間は、高齢者の方が町を活性化していく大事な存在であると思うので、その方の意見が聞けるような、目的に沿ったアンケートが必要でなかったかと思います。指標1のミュゼふくおかカメラ館の目標値が達成しなかったというお話でしたが、これは、事業の効果が達成してないということですか。

【窪田教育行政センター所長】

ミュゼふくおかカメラ館ですがH19年度21,000人、H20年度23,000人、21年度18,000人、H23年度12,000人、H24年度13,000人と下降気味です。これは、収蔵庫増築に伴い常設展の充実を図るため2,700点余りのカメラ資料の整理を重点的に行った時期でもあり、また施設の充実を図るため、平成21年に収蔵庫の増築工事、平成22年館内の空調機器の修繕工事を実施しており、このことが来館者数の減少につながったものと考えております。管理につきましては、指定管理制度を導入しており、民間の知恵と工夫により、適正に管理されていると思っております。

また、カメラ館の中では、平成12年のオープン当初からクラシックカメラの常設展示や施設に合わせた著名な写真家の企画写真展や近隣のふくおか工房いっぴく処や雅楽の館などと連携した写真展示や、小学生から一般まで広く作品募集を行うワンダーフォトコンテスト、ギャラリートーク、写真教室なども教育事業などを実施し、カメラや写真の魅力を伝えていく施設として、また、福岡中央地区の回遊性を高め、市街地の賑わい創出にも努めていきたいと思っております。さらに多くの方々の来館をお願いしたいと思っています。

【茂古沼委員】

経営が安定しているということですか。

【窪田福岡教育行政センター所長】

経営に関しては、指定管理制度で、民間活力と知恵と工夫で健全経営しており赤字経営ということはありません。

【山崎福岡まちづくり推進室長】

アンケートの内容、高齢者の視点がないという点については、ここに出ているのは指標の満足度という考え方であり、その他アンケートの中には、自由記入欄があり、これから中央地区にどんなまちづくりが必要かというような質問があります。その中で、福岡駅周辺に高齢者や障害者が集えるような小休止の場所が必要であるとか、高齢者の住みやすい環境、高齢者もまちに出かけて楽しくなるようなまちづくりが必要だという意見がありました。これから道路、公園などを整備していきますが、皆さんのこのような自由欄のご意見を参考にしながら、高齢者に優しいまちづくりに努めていきたいと思っています。評価値のアンケート内容は、前回と同じ内容で実施し、具体的に比較するもので、今回、このような内容で実施しました。

【朝委員】

土地区画整理事業が進みましたら、駅前の道路、国道八号線などは、道幅が広がりますが、車優先になり、まちなかの高齢化が進んでいる現状では、シルバーカーをひいて歩くお年よりは、広い道を横断できるのか、安心安全につながるのか心配です。

【山崎福岡まちづくり推進室長】

土地区画整理事業で区画道路を作っております。国道八号線に取り付けるという道路を作っていますが、現在、国と交差点協議をしております。国道八号線や河川にかかる交差点について、どのように車を進入させるかとか、どのように右折左折をするのかということも協議するものです。これから公安委員会の指導も受けながら、横断歩道の設置も考慮し協議をしていきます。横断の際の安全確保には、信号時間も含め、十分配慮していくつもりです。

【山田議長】

他に何かありますか。

質問がないようですので、ただいまの審議事項第20号の福岡地域における主要事業の進捗状況について「①福岡中央地区のまちづくり（土地区画整理事業）」及び「②福岡中央地区のまちづくり（都市再生整備計画事業）」については、承認することといたします。

(3) その他

【山田議長】

それでは、その他の事項に入ります。

挨拶にもありましたが、副市長の件について皆さんの意見を伺いたいと思います。

【高橋市長】

副市長選任の件について、私の思いなり、今後の体制について、回答でも申し述べましたが、説明させていただきたいと思います。

副市長の任期に関する案件は、人事に関する案件でございまして市長の責任において、私自身が判断すべきことであると考えておりました。また副市長という特別職ではありますが、4年という任期制でございまして、任期ごとに考えるべきものであります。従って今回の任期満了を迎えるにあたりまして、活かすべきか否かを充分考えたうえで、合併後8年を経過していること、その中でこの間の事業進展、事業進捗あるいは各種制度が一元化されてきており、そういった状況の変化など様々に総合的に考えまして、こうした判断をいたしました。合併の際の色々な協議の結果、いきさつについては承知をいたしておりますけど、そういうことから地域の皆様にご心配されるであろうということには申し訳なく思っておりますが、私なりに判断をさせていただいたということです。

皆様方が心配されるであろうことは、このことをもってこれからの福岡地域の事業進捗がどうなるのか、あるいはこれまで副市長が担っておられた役割というのが、今後どのように体制がとられていくのか、ということが大切とっております。福岡地域に関しては、ただいまいろいろご説明いたしましたが、順調に進んでいるもの、あるいは皆様から見て、まだまだ課題が残っているものがあるかと思いますが、それぞれの事業については、着実誠実に進んでいると思っております。一方で、まだまだ実施すべき事業が引き続き残っていることも承知しております。新市としてこれからも取り組んでいかなければならない課題も多くございまして、そのためには、しっかりとした、福岡地域に関する業務執行体制というものが、構築されなければならないと思っております。これを通じて、施策事業が円滑に進むよう今後とも十分意を用いてまいりたいと思っております。今後とも福岡地域審議会のご意見を伺いながら、計画されている事業についての着実な推進を図っていきたくと思っております。福岡担当という副市長を置いてまいったわけですが、これまで担当していただいた業務については、今後任期満了後は、市長である私と副市長と総合行政センター所長とそれぞれ分担して引き継いでまいることになります。現場のセンター事業の遂行については、センター所長の補佐職を新たに設けたいと思っております。事務執行のスタッフ体制の強化に努めたいと思っております。また、庁内全体を通しまして、庁内に福岡地域の課題につきまして、関係部局で構成する連絡会議を設置するなどいたしまして、福岡地区の業務が円滑に推進しますようにしっかりとした体制を作ってまいりたいと思っております。これまでも土地区画整理については、都市整備部の一部を福岡庁舎に移すなど円滑な事業進行に配慮してきたわけですが、福岡地域を所管するセンターとして、しっかりと庁内各部局の連絡調整を果たせるような連絡会議を活用しながら、円滑な推進をさらに図ってまいりたいと思っております。今後も引き続き福岡地域の振興あるいは市民の中での一体感の醸成の進展に努めてまいります。福岡地域の皆様の先ほど満足度の意識調査などのお話を伺いましたが、合併してよかったという意識を持っていただけるよう、まちづくりの推進に努めてまいりたいと思っております。以上、私の思いをお話申し上げましたが、地域審議会の皆様のご理解をいただきまして、引き続きのご協力をお願い申しあげたいと思っております。よろしくお願いたします。

【山田議長】

ありがとうございました。皆様のご意見がありましたらどうぞ。

【武田委員】

市長さんも県の市長会の大役を引き受けられまして、大変だろうと思っておりましてのに福岡担当の副市長を置かないというお話でしたが、福岡担当の副市長さんは、合併してから10年間は置いていただけるものと思っていました。8年間で福岡担当副市長がいなくなるということは、福岡町の住民にとっては、大変大きなことであると思います。私たち地域審議会委員としても、大変大きな問題であると思っております。今後とも円滑に事業を進めると言われましたが、福岡の地域にとって担当の副市長がいらないということは、福岡地域の予算が確保されるかが、住民にとって心配されます。担当副市長がいなくなると、福岡地区の予算が減るのではないかと心配しておりますが、このあたりについては、どのようにお考えか。道路担当課や農地担当課に陳情に行きますと、福岡地域には、高岡市の予算の半分も持っていかれていると言われます。まだするのかというようなことがいまだに言われます。このようなことが、いまだにずっと続いています。このことは、旧の高岡市の皆さんからしますと、福岡のまちには予算をもって行き過ぎでないかというふうにお考えだと私は理解しましたが、どのような考え方で予算を組まれるのか、また、これまでどおりの予算の確保はできるのかお伺いします。

【大道委員】

当面福岡担当の副市長は空席にするといわれましたが、この先、必要に応じて選任されることはありますか。

【徳田委員】

今までの高田副市長さんの役割を市長、副市長、センター所長とその補佐の方で担うということですが、高田副市長はこれまで、きめ細やかに地域の行事にまで参加しておられました。仕事外でも地域の皆さんと中身の濃いお話をされてきておられましたので、代替わりの人を何人置いても高田副市長の代わりというのは務まらないと思います。私たち福岡地域の住民としては福岡地域の副市長は、福岡のことがよく分かっている、福岡に根ざした人になってほしいとの思いがありますが、そう考えると、今回の高田副市長の代わりを置くという話は、少々不安が残りますが、どのようにお考えでしょうか。

【山崎委員】

今までも十分な事業がなされてきたと思っておりますが、合併してから数年経過して、当初考えていなかったところで、不都合や不便さが感じられるものが出てきていると思います。合併当初は、事務的に両市町で決められたことをどんどん進めていきましたが、ここにきて、住民の生活に直結している細やかな事案、ありよう、今後の進め方を詰め

ていく大事な時期に直面していると思います。そのためにも、最後の取りまとめ役として副市長さんが必要でないかと思います。市長さんもより一層忙しくなっていく中で、今まで二人体制だったものを、一人で進めるというのは、おかしいのではないかと思います。

【地崎委員】

今現在、駅前をご覧になられてわかるように、菟川だけ変わっていますが、あとは全く景色が変わっていません。駅前の交流センターも設計はできたと聞いていますが、着工されていません。福岡担当の副市長さんがいてもなかなか前に進まない状態でありませう。この審議会の報告でもご苦労をいただいていることはよくわかっていますが、前へ進んでいる話を聞いていません。このまま計画倒れでなくなってしまうのではないかと、とっても心配です。

【高橋市長】

いろいろ私のことまでご心配いただき大変ありがとうございます。いろいろ皆さんがご心配になれることは、私もよくわかります。ただ、いつかの段階で何某かの判断をしなくてはいけないものであり、高岡よりもっと大きなまちでも、副市長一人体制でやっているところがあるわけでごさいます、大変なことは大変として、覚悟して進めなければならぬと思っています。合併特例債が10年期間ということですので、多くの事業が10年間で節目に組み立てられております。従いまして、10年間で1つの区切りということは心情的にも事業の区切りといたしましても、その通りであろうかと思ひます。ただ副市長の任期は4年間毎でごさいます、10年ということと、任期の4年間はかみ合わないということで、そここのところは、いろいろな思いがあるところですが、どこかで区切りをつけなければならぬものであります。この点については、ご考案とひいか、今まで現にあったわけですから、そうでないということを理解していただくのは、なかなか捨てきれないものがあるかと思ひますが、おかげさまで、何とか事業の進捗も見えてまいったかと思ひております。この間、たとえば、文教ゾーンにつきましてもいろいろご議論を踏まえながら、高田副市長さんや皆様の努力の結果ではありますが、事業手法が確立してきたのではなからうかと思ひております。確かに、これからいろいろなものが見えてくるのではないかという意見もごさいます、この点につきましても、私をはじめといたしまして制度の充実も含めてきちっと地元の方のご意見ご意向を踏まえながら、進めていくようにしてまいりたいと思ひます。高田副市長さんは、地域の集会などに非常にこまめにきちんと出ていただいて、皆さんと懇親懇談しながら、地域環境づくりをしていただいているのは、とてもありがたいことであると思ひております

す。その点はできるだけ、先ほど申しました、新しい体制で、カバーしていきたいと思っております。ひょっとして、福岡で生まれ育った人という思いが皆さんのご懸案の中にもあるかもしれませんが、これについては、福岡に生まれ育った職員もたくさんおりますし、それから、福岡に生まれ育ちでない方であろうとも、担当する以上は、その地域を理解していただき、その地域の方々のために努力するのは当然でございます。私の見解からいきましても、意識を切り替えて、早くその環境になじむように努力するというのが、職員の常でございます。私から、担当の職員に至るまで、そういう意識を徹底させたいと思っております。駅前等についてなかなか事業の成果が見えないというお話でありましたが、そのとおりでございますし、私も忸怩たる思いがございますが、それぞれ職員の努力で、進捗はしている思いであります。地下の基礎を作るには、なかなか時間がかかりまして、そういったものが、積みあがって姿を見せるには、もう少しお時間をいただきたいと思います。見えれば早いということです。その辺はぜひご理解をいただきたいと思います。また土地区画整理事業というのは、非常に複雑な組み合わせでございます。民間事業では、なかなかできないような換地の指定をしていくわけで、そういうこともあって、市の施行事業として、取り組んでいる。なかなか、一つ家を動かしたら、すぐ道路を拡幅するというわけにもいきません。そういうことで、時間も要しますし、最終的な成果物が、見えてくるのは、一定時間を要することであると思っております。その辺につきましても、確かに難しい課題ではあります。職員一丸となって、努力してまいりたいと思っております。その点については、ぜひご理解を賜りたいと思っております。また予算について、いろいろご心配もあろうかと思っておりますが、行政センターにしっかりと機能を持たせることによって、福岡地域の事業が総合的に進みますように配慮していきたいと思っております。私自身も福岡の事業について、これまで予算を削ったということはありませんし、必要な事業についてもしっかりとやっていくということです。福岡については大変大きな事業をいくつか抱えておりますので、その分確かに福岡への事業配分が多いかと思っております。事業が進めば、順次終了することとなります。道路等は順次整備していくものであります。たとえば福岡のインターチェンジなどしっかりとした課題として見据えていかなければなりませんし、そういったことが整えば、またその次の関連事業を進めることになるので、事業のことと副市長のいる、いないは直接事業の進捗とはかかわっていないと考えています。合併特例債の話も含めて、お約束であった事業、お約束であった特例債の扱いについては、しっかり踏まえてやっていきたいと思っておりますので、この点については、ご理解をいただきたいと思いますし、副市長の今の件についても十分ご理解いただきたいと思います。いろんな地元の要望をどんな方法で行えばいいのか、この点についてもセンター所長以下職員、私も直接お聞きする立場でもありますし、必要であれば副市長がしっかりと中心になって対応してまいる

ことは当然であろうかと思えます。今まで慣れ親しんだ方が、いなくなるという、おつらい立場は十分理解しておりますが、それを補える体制を整えたいと思っております。この点を是非ご理解をいただきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

【山田議長】

何かご意見がある方はどうぞ。

【平野委員】

庁内の連絡協議会をもって、今後実施していくということですが、具体的な内容はどのようなものですか。

【高橋市長】

具体的内容につきましては、まだ一か月ほどありますので、もう少し詰めていきたいと思えますが、これまでも福岡の地域に関するテーマごとの連絡会は持っております。私としては、福岡行政センターが全体を束ねていますが、大きな事業になりますと、ある事柄に対しましては、建設部の事業として、あるいは生活環境部の事業としてという関連部局といったいろんな課が、そこに関係してくるので、そういうことを常時各部局が情報共有しながら、センター長の指導の下、発議のもと、随時集まって庁内を調整するという心を心がけるということで、福岡地域の課題を庁内での情報の共有とかお互いの事業館の進度調整とか円滑に図れるようになっていく。また、そういったことが、センター長の庁内での発言力を発揮していく一つの舞台になっていくのではなかろうかなと思っております。そういう意味で、定例的にもそのような会議を開催したいと思います。また必要に応じて、随時センター所長が招集するような連絡会議といったものを恒常的に持たせるというものをイメージしております。具体的にどういう形で、ということ、副市長さんの任期後に明らかにしていきたいと思えます。

【山田議長】

ほかに何かありますか。

【徳田委員】

本来、合併してよかったと思えるような形になるべきですが、8年経ちました。合併して良かったかどうか聞いたときに福岡地域では、なかなか良かったと思われるようなネタがありません。実際、合併してすぐの時は、住所が変わったりして、会社印も変え

たりいろいろそのことだけで振り回されました。5年間の激変緩和策の中で、少しずつ国民健康保険税も値上がりし、この8年間というのは、十分な期間だったかと考えると、そうは思わず、福岡の住民にとっては、やっと慣れてきたかなと思うくらいの期間でなかったかと思います。そんな中、副市長が一人体制ということですが、今まで2人でやってきたものを、1人ですということ、市長はじめ皆さんに確実にしわ寄せが来ることになります。一生懸命やるといわれる気持ちはわかりますが、実際には、現実には、明らかにしわ寄せが来ると思います。この後のことがとても心配でなりません。高田副市長にコメントを求めます。

【山田議長】

副市長には、後ほど言っていただきますので、ほかに何かありますか。ないようでしたら、この件に関しては、終わりにしたいと思います。そのほかのことで、何かありますか。

【源委員】

災害の対応について、述べたいと思います。全国で、災害が起きたときは、たいてい市長をはじめ、副市長ほか幹部の方は、出張で災害発生時にはいなくて、初動体制に支障があると、アンケートで出ています。副市長一人体制になるということですが、一人体制だと大変であり懸念されます。また、高岡市内でも、最近自然災害が多く発生しており、心配なことがあります。福岡の消防隊と、救急隊は、それぞれ1隊しかいません。戸出、伏木は、消防隊2隊、救急隊1隊となっています。現状では、福岡の救急隊の出動が、戸出や伏木よりも多い状態である。また、合併してから、福岡の消防、救急範囲が広くなり福岡署にほとんど救急隊がない状態である。福岡の住民からするととても不安であります。救急の初動体制について、考えてほしいと思います。それから、8月25日に富山県指定天然記念物赤丸浅井神社の大欅が倒木し、近くにあった観光トイレが被害にあった。高岡市でも文化財に指定してある樹木が多くあると思いますが、樹木医等に定期的に見てもらって、調査をし、二度とこのような災害が起こらないように対処してもらいたい。要望です。

【茂古沼委員】

旧高岡市として、旧福岡町と合併して8年が経ちましたが、良かったことはなにか。

【高橋市長】

旧高岡市、旧福岡町でどちらが良かったのかとか、こちら側から見てこうだとか、私自身がそういうふうに見ているわけではありませんが、一つには、新高岡市全体として見たときに、たいへん奥行きが広まったというふうに思っております。旧高岡市は、比較的平地が多く市街地とその周辺の水田地帯であります。旧福岡町は、水田もございりますが、山地も抱えておられて、それも里山ということですが、非常に豊かな植生が多様化しておりますし、農産物も非常に多様化しております。その分、農産物の六次産業化やブランド化も図りやすい環境であるかと思っております。当然のことながら、地域性の違いによる文化の違いも高岡市全体の文化資源として、非常に幅を広げてくれたと思っております。最近としては、重要無形文化財に指定されました菅笠づくり、菅づくり、そういったことが、福岡の全体としてアピールとかに大変大きなプラス材料になっていると思っております。総じて、厚み、幅といったものを広げていただいたことが、旧高岡、旧福岡との合併の大きな強みであると思っております。今回10周年を控えていますが、是非26年度中に一つは、合併して良かった点、悪かった点の点検、悪かった点はあるほしくないのですが、当初予定しておりました、事業の評価などを点検するという、そして、周囲の方々の意識というものがどう変わったかといったことを、できるだけわかりやすくリサーチをして、そのことを踏まえながら、10周年一区切りで、願わくば、合併して良かったと、旧福岡町の方にとっては勿論ですし、旧高岡市の方にとっても良かったと思ってもらえるような目標を確認することが必要だと思っております。ということで、10周年に向けてのいくつかの取り組みというものを早く進めなければならないと思っております。

【山田議長】

ほかに何かありませんか。特にないようでしたら、先日高岡市で用事があって行ったときに、新聞報道での記事を見た人が言っておられましたが、福岡の副市長を選任しないという前に、議会の定数削減が先でないかという、そういう考えの人がおいでました。それでは、11月29日に高田副市長さんが退任されます。副市長さんに挨拶をお願いしたいと思います。

【高田副市長】

ご挨拶の機会をいただきまして、ありがとうございます。福岡担当の助役を仰せつかりまして、名称こそ副市長と変わったものの、2期8年にわたりまして、地域審議会の委員の皆様初め、すべての高岡市民、とりわけ福岡町民の皆様には、大変お世話になりました。お励ましや、お心遣いをいただきましたことをまずもって厚く御礼申し上げます。この間、市議会議員各位をはじめ大勢の市職員の皆様にはずいぶんお世話になりました。

た。特に、福岡行政センターの皆様には、幾度もなく仕事上の不満が爆発して、怒鳴り散らす場面がありました。自らの勉強不足、短慮、非力を顧みず失礼をしてきたことを深く反省しております。お許しいただきたく、またあらためて感謝を申し上げます。顧みますと日本の各地が、合併を経験いたしました。平成の大合併は、もともと国の財政再建という大きな課題解消のために実施されております。このため、いずこも膨大な行財政改革をする苦難の道をたどる運命にあったと思っております。

特に高岡福岡の合併は高岡市の呼びかけに周辺の市や町が応ぜず、福岡のみが応えた経過がございます。そのために福岡担当副市長を置き1部4課の行政センターを置いて15年後に再協議すると定め、そして地域審議会も15年置くということを、当時高岡市長でありました、佐藤元市長からの提案を受けました。旧福岡町は、この提案を受けるだけでなく、新市建設計画のために発行を許されております合併特例債190億円を単純に折半して使う約束までのせて、合併を実現したわけでございます。この経過は、忘れてはならない大変重いものがあると思っております。当初高岡市側の一部には、合併してしまえば、福岡のことなんかどうでもなるのだという、ささやきがあったと聞いておりました。実際福岡の新規事業は、高岡には前例がないという理由でなかなか進まないことがたびたびありました。例を挙げれば、毎年1億5千万円の予算執行が約束されていましたが、福岡への道路関係予算は次第に減額されてきております。また、高岡斎場の建設費用を人口費で負担する約束をしながら折半だと言い出されたこともありません。橋前市長に撤回をしていただきました。また、耐震補強工事だけの予定でございました福岡小学校を、これはお聞きいただいて延命措置ではないということから、全面改築をお願いして聞いていただけました。ところがこの時も、高岡の小学校には、ベランダがないから、だめだと言われました。福岡では、統合小学校の形をとっておりますので、高岡の学校規模とはおのずと違う、考え方も違うわけでございますが、そうした統合小学校への各地区の深い思い、思い入れがこうしたところが、たとえばベランダに表れていたと私は思いましたので、お願いをいたしました。これは何とかお聞きいただきまして、現在、高岡市内では誇れる立派な校舎が完成いたしました。また、同時に旧の福岡小学校には個別の放送室がありました。高岡では単独の放送室に部屋を設けないということで、放送室を作らないというお話をいただきました。職員室の一角に設備があればよいという説明を受けました。これは、私としては大変不満でありまして、お願いをして、現在の形になっております。黙っていれば前例がないということですべて済まされるのが、高岡の現実であるかと思っております。合併はいまだ道半ばだと思っております。ご指摘のように、福岡駅前も、そして石澤顧問が再々言われます駅南の再開発にいたしましても、また、伝統菅笠の再生あるいは、スマートインターの建設など残さ

れている課題は、決して少なくないと思っております。そうした中で、この8月高橋市長から、おかげで、新市建設計画の大きな事業がおおむね実現したので、あとは私がしっかりと見ますとねぎらいの言葉をいただきました。10年一区切りと考えておりました、合併成果をまとめる作業に入っていた矢先でございましたので、いささか意外に思う面もありましたが、8年間を大過なく過ごせたということから、いわば、宿題がよくできたと親に褒められた子供のような嬉しさが広がってまいりました。この間、戦闘モードが解けたのは、大げさに言えば、2度の入院期間のみであったように思います。針の筵とか、高岡からたたかれ、福岡から突き上げられる、サンドバッグの役だったと思います。憎まれ口を聞いてきましたのも、今般の市長のねぎらいで、任期こそ1か月残しておりますが、今や、懐かしい思い出に変わろうとしております。福岡に寄せる熱い思いは、地域自治会の役員の方々や、あるいは地域審議会の皆様と全く同じでございます。どうかこれからも皆様ご健勝、ご多幸にお過ごしいただき、福岡のために一層の力を発揮していただきますようお願いをしたいと思います。長い間ありがとうございました。

【山田議長】

ありがとうございました。では事務局からお願いします

【事務局】

本日の第24回福岡地域審議会をもちまして、今回、任期中の委員の皆様による審議会は、最後となります。これまで、第19回審議会から数えて約2年間、計6回の審議会を開催し、ご審議いただきました。山田会長さんをはじめ、4期の委員の皆様には、お忙し中、ご出席を賜り慎重審議いただきましたことに対し、改めて御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

次回の第25回福岡地域審議会は、新しい委員となる皆さんで、来春開催を予定しております。

5 閉会

【事務局】

以上をもちまして、第24回福岡地域審議会を閉会します。

本日は、長時間にわたりご審議いただきありがとうございました。お疲れ様でございました。